

# きょうぎかい

令和3年2月12日(金) 相模原市障害者自立支援協議会全体会議をオンライン会議にて開催、各部会長より今年度の活動を報告がありました。これを基に各部会における2年間の活動報告をします。

## 緑区課題検討会

地域で生活する障害者の“ちょっとした相談に対応するため、支援に活用できるインフォーマルな情報がわからぬい”そのような声に対応するため、『社会資源 Map』を作成することになりました。ワーキンググループ活動を通じ、高齢者支援において、インフォーマルな情報が掲載されている「(\*)地域包括ケア支援システム」(図1)があることがわかりました。

この既存のシステムを活用していくため、障害者のためのインフォーマルな情報を収集しています。次年度以降は、このシステムを活用した『社会資源 Map』を作成していきます。

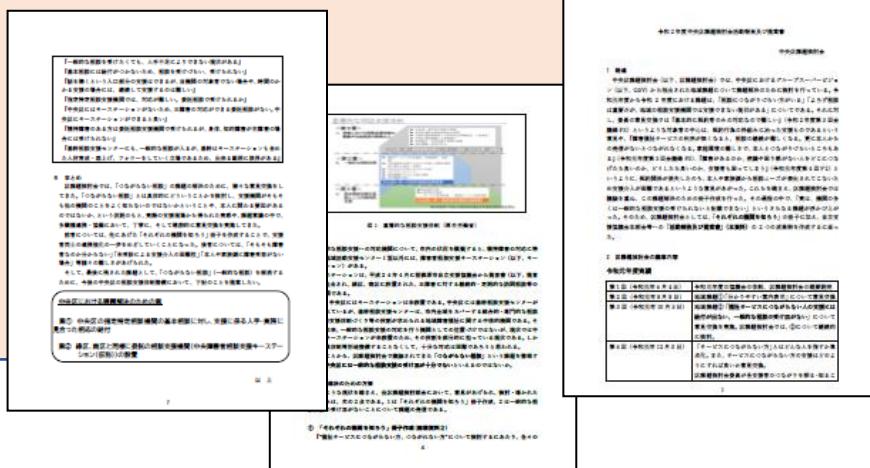


図1 地域包括ケア支援システム

## 中央区課題検討会

“支援につながりづらい相談”に対して、各事業所の対応・現状、そこから見えてくる課題について意見交換してきました。そして、障害福祉サービス利用はなくとも、課題を抱え生活のし辛さを感じている方の相談先の充足が求められるのではないか、と話し合われました。そのような方々への対応を考えるために、まず、当部会委員の所属する事業所や機関の役割・強みや、対応できない相談を理解することから始めることになり、当部会委員間の連携のための内部資料として、『それぞの機関を知ろう』を作成しました。つぎに、内部資料作成から見えてきた課題、“中央区における一般的な相談の担当手が無い現状”を、今後の相談支援体制整備の提言につなげるため『令和2年度中央区課題検討会活動報告及び提案書』にまとめました。

次年度以降も引き続き、中央区における相談支援体制充実のため、取り組んでいきます。



# 南区課題検討会

支援につながることが困難な状況にいる方を、誰がつなげていくのか。そのためのシステムとして、“警察”“コンビニエンスストア”“学校”的3つの社会資源に注目し、これまでの支援における連携事例について意見交換してきました。そして、その中から好連携事例をまとめた『ふくしんとポコスン～福祉と他機関との連携事例集～』を作成しました。

事例・構成などはワーキンググループ活動を通して完成いたしました。皆さんに親しみを感じていただけるよう登場するキャラクター達は、当部会委員所属事業所を利用されている方考案によるものになっています。そしてこのキャラクター達が事例を紹介いたします。またイラストも当部会委員によるものです。委員皆で力を合わせつくり上げた事例集です。今後は、この事例集をツールに、“警察”“コンビニエンスストア”“学校”等と、より良い連携をめざし取り組んでいきます。

この事例集は相模原市障害者自立支援協議会ホームページからダウンロードも可能です。  
ぜひ、ご覧下さい！

## 権利擁護・虐待防止検討部会

支援者に対し、『虐待はいけない！』という発信ではなく、共に我々支援者一丸となって、『虐待を見逃さない！』というメッセージを届け、自らの支援を振り返り、連携の輪を広げながらより良い支援をめざすアプローチ方法を検討してきました。

当部会は、出張型アウトリーチ研修、それに伴う体制構築や、生活支援プラン『Map』の活用についてなど、活発な意見交換の中から多くの活動を展開してきました。

出張型アウトリーチ研修では、国が実施する虐待防止に係る研修を受講したメンバーを中心に



DVDの一場面

グループホームへ出向き、より良い支援を一緒に考えようという目的で実施します。今年度はコロナ禍で実施を見送りましたが、次年度以降の実施予定です。

また、“虐待なのでは…”“心配な児童がいるけど、どう対応したら良いのだろう…”という場面に遭遇した時、支援者としてどのような対応をとるべきなのだろうか。このような不安を解消するため、中央子育て支援センターと連携し、『気になる児童』を行政に通告する場面・家族面談のDVDを作成しました。このDVDは官民協働の基、完成した成果物です。次年度以降、市内各事業所ならびに行政研修で活用予定です。

今後も、この2年間の意見交換を礎に積極的に活動していきます。

## 地域課題調整部会

3区課題検討会からあげられた課題を、より具体的に検討することを目的に活動してきました。今年度は、行政組織改編に乗せて、障害者支援部門・高齢者支援部門の統合を受け、これまでの支援の中から見えてきた課題を『意見シート』にまとめました。次年度以降は、この意見シート項目を一つひとつ丁寧に紐解き、意見交換を実施しながら、障害者支援・高齢者支援の連携について、現状を明らかにし、改善するために官民協働の基、より可能な方法を議論し、提案・発信していくために活動していきます。

| 分類           | 内容   | 備考   |
|--------------|--|--|
| ◎連携システム      | ① 連携を強化するための連携会議開催をコードニードで実現する<br>・連携の会議       | ① 連携会議でクラウド会議として、会議の豊富さ・実効性を確認する<br>・会議のための会議室を準備して連携をこれまでより |
| ◎児童の虐待<br>対応 | ① 連携を強化するための連携会議                               | ① 連携の会議の実現   |
| ◎児童の虐待<br>対応 | ② 連携会議は定期的に開催するように月例会議開催をコードニードで実現する<br>・連携の会議 | ② タイムスケジュールを通じて定期的に開催会議をコードニードで実現する<br>・連携の会議                |
| ◎児童の虐待<br>対応 | ③ 連携会議は定期的に開催するように月例会議開催をコードニードで実現する<br>・連携の会議 | ③ 連携会議は定期的に開催するように月例会議開催をコードニードで実現する<br>・連携の会議               |
| ◎児童の虐待<br>対応 | ④ 連携会議は定期的に開催するように月例会議開催をコードニードで実現する<br>・連携の会議 | ④ 連携会議は定期的に開催するように月例会議開催をコードニードで実現する<br>・連携の会議               |

| 分類 | 内容           | 備考  |
|----|--------------|---|
| 1  | ◎児童の虐待<br>対応 | ① 連携会議開催なし<br>・連携会議は定期的に開催するように月例会議開催をコードニードで実現する<br>・連携の会議 |
| 2  | ◎児童の虐待<br>対応 | ② 連携会議開催なし<br>・連携会議は定期的に開催するように月例会議開催をコードニードで実現する<br>・連携の会議 |

# 人材育成部会

“行政と民間事業所の立場を超えて、障害福祉の課題について学びあう”ことを目的に、障害福祉現場をささえる価値観について、実践を通じて学ぶ機会を検討してきました。



今年度、相模原市は、地域包括推進部を創設し、障害部門と高齢部門について、包括的に支援するための組織改編を行いました。そこで、職種による違いを共有し、互いの支援観を理解することを目的に障害者支援、高齢者支援、行政ケースワーカーを対象に『お互いの理解を深めて、よりよい連携を考えよう♪～さがみはらワンチームを目指して』をテーマに協働研修を開催しました。事例をグループ内で共有し、“この事例について、まず最初に着眼するところはどこか？”ということを検討しました。

初のオンライン研修でしたが、互いの支援を理解し合い、歩み寄ることで今後のさらなる連携につながる研修となりました。次年度はこの研修を更にバージョンアップする予定です。当部会は今後も、支援者スキル向上のために有意義な取り組みを検討します。

令和3年3月12日(金)Zoom オンライン研修

『お互いの理解を深めてよりよい連携を考えよう♪～さがみはらワンチームを目指して～』の様子



あとがき

令和元年度より、部会編成を行い、“新たな自立支援協議会”としてスタートしました。ここに、2年の任期を終えられました委員の皆様方のご協力に、厚く御礼申し上げます。特に今年度は新型コロナウィルス感染拡大への対応を余儀なくされ、第1回目は全部会“中止”、そして2回目は“書面会議”、その後は“オンライン会議”ということで、その時々の情勢に合わせ、市と協議しながら、「何とか開催を…」という一心で開催してまいりました。委員の皆様方にはご迷惑、ご心配をおかけしました。このような困難な中にありながら開催された部会ではありますが、各部会から様々な成果物が報告されましたことは、何よりも委員皆様方のご活動の賜物であると思います。今後も地域で生活する障害者のために、支援者が心を寄せながら活動していくことを支えていきます。これからも相模原市障害者自立支援協議会運営にご理解・ご協力よろしくお願ひいたします。